

宗四小だより

夏休み号

児童数 396名



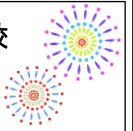
志木市立宗岡第四小学校

志木市上宗岡1-1-2

048-473-5250

<http://www.mune4syo.ed.jp/>

平成29年7月21日発行



学校教育目標 ○考える子ども ○思いやりのある子ども ○はたらく子ども ○じょうぶな子ども

豊かな心を育てる



校長 豊島 典子

梅雨明けとともに、いよいよ待ちに待った夏休みとなります。

7月11日(火)にプール納め集会をしました。子どもたちの多くは、「真剣に取り組もう」「めあてをもって努力しよう」の二つを達成できたようでした。また、来年も頑張ろうという誓いもありました。

14日(金)には全学年が着衣泳を行いました。プールだけでなく、海や川で衣服のまま水に落ちてしまったときはどんな状態になるのか、体感しました。ペットボトルを抱えて浮いてみました。水の中では自由に動けない体験です。いざというときのために加えて、「危険な水場には近寄らない」「無理はしない」という気持ちにつながり、安全に過ごせればと願います。

さて、夏休みが始まりますが、「豊かな心」という点に着目してみました。

心を見ることはできません。心はふるまいを通して表れます。「豊かな心」の姿とはどんなものでしょうか。毎日花に水やりをしたり、困っている人がいれば助けたり、人の意見にも耳を傾けたりすることなどを豊かな心と言えるのではないのでしょうか。

辞書で「豊かな心」の反対の言葉を調べてみました。「乏しい心」「貧しい心」とありました。それは一体どんな姿でしょうか。

物事を自分の損得のみで考えたり、人の失敗をひそかに喜んだりすることです。醜い心と分かっているのですが、この心も人間には存在します。

では、豊かな心はどのようにして育つのでしょうか。言葉だけで教えるのは無理があると思います。もともと心は言葉で育つのではなく体験によって育まれることが大きいのです。

毎日水やりを続けた結果、きれいな花が咲いたり、実がなったりすることを体験すれば、植物や食物の大切さがわかるでしょう。毎日玄関先の掃除を続けることで、むやみによその場所を汚したり、ごみを放置したりできないでしょう。暑さの中、いつもきれいに掃除をしてきれいにしてくれる人に感謝の気持ちをもつことでしょう。「大変なのよ。」「こんなにやっているのに。」などと言っても子どもたちには通じにくいのです。

そこで、長い夏休みを利用してぜひ一緒にできることをしてみる、続けてしてみるのはいかがでしょうか。思わぬ発見があるかもしれません。思いがけず成長を見られるかもしれません。楽しみながら、ゆとりをもって、おとなが「豊かな心」で接したいと思いました。

8月29日(火)にまた元気な宗四小の子どもたちに会えることを楽しみにしています。